

8月21日開催の統計委員会において「学校基本調査」を諮問した際、 白塚委員から示された御質問に対する文部科学省の回答

白塚委員からの御質問

OECDから求められている教育関連のデータのうち、文部科学省は、どの範囲で対応できているか。現状、具体的にはどのようなデータを提供しているか。

文部科学省の回答

OECDから提供を求められているデータは多種多様であり、データにより毎年、隔年、不定期など求められる周期が異なるほか、その時々国際的な政治経済状況の変化により、突発的に提供を求められるものもございます（令和4年度においてはウクライナ難民への教育的支援など）。

このように、提供を求められるデータは頻繁に変動するものであるため、全体像を包括的に示すことは難しい状況ですが、その中で、最も基本的な情報として、毎年継続的に、文部科学省に対して提供が求められている主要なデータには、

- ① 学校在籍者数、入学者数・卒業者数、教員数、学級数、学級規模
- ② 教員の資格・給与

がございます。

このうち、①については概ね提供できており、今回の変更により、提供情報の一層の充実が図られることとなります。

また、②については、教員の法定給与の範囲でデータを提供しています。